

## 2016年度 第2回強化審判員研修会を開催

12月18日に松島文化観光文化交流館を会場に、2016年度第2回強化審判員研修会を開催しました。

今回の研修会の内容は①2017年度以降の審判員育成システムの説明、強化育成指針(加藤委員長)、②資質向上(加藤委員長、木口INS、大平INS)、③1級審判員昇級者のプレゼン(伊勢、畠山)、④レフリングスキルレビュー(西村雄一氏)の内容で実施しました。

本研修会開催の目的は①東北地区・県内の主要な試合を担当する審判員の強化、②上級審判員の昇級ステップのサポートを目的とし、2014年度から継続して開催している研修会です。

参加審判員は2016年度の各自の活動を振り返りながら、2017年度のシーズンに向けて充実した研修が出来ました事を報告します。



### 加藤 勝 審判委員長 コメント

本年度の2回目の強化審判員研修会に審判員だけでなく、多くの指導者にも参加していただき開催することができました。一方的な指導にならないように指導者は配慮していますが、審判員が日頃感じていることを共有できたことは、今後の指導にも役立てられるものでした。強化審判員研修会を開催してから3年目となりますが、1級審判員の誕生という大きな成果が得られています。参加審判員は自分もいずれはと思って参加しており、モチベーションは高まっていると感じています。しかし、表に出てこなのが残念で、研修会時の問いかけに対して、発言が少なく講師も戸惑ってしまう状況は今後の大きな課題です。来年以降も継続的に、審判レベルの向上と指導者の情報共有の場として開催していきたいと思っております。東北地区の審判リーダーとして活動していきますので今後ともご協力をお願いします。

### 高橋 悠 2級審判員 コメント

今回の研修は1日と短い時間でしたが、改めて気付く点が多い研修となりました。西村雄一氏の講義で「反則がとれていない場面で自分の中に映像がない」という内容で、確かにそのような経験がある中でなぜだろうと思っていました。実際は判定する際の競技者の「横切り」が原因ということが分かりました。実際の映像を見てもプレー直前の横切りによって正確な判断ができない、判定をする要素が無いため反則の見逃し等が起こっていました。今回の研修の中で一番気付かせられた点でありました。それを改善するために、情報入力を行う(見る・聞く)。中心視・周辺視を使い分けるなどの大切な要素を学びました。トレーニングに関しても、フィットネステストの項目は実際のゲームを想定しての動きということであり深く考えたことがなかった分、確かにと感じました。そのような意識もこのオフシーズンの過ごし方としてやっていければと思います。今回も充実した研修の場を与えて頂きありがとうございました。この研修を今後にも生かし今後覚悟をもってやっていきますので今後ともよろしくお願い致します。

### 伊藤 睦子 2級審判員 コメント

1級審判員の試験をクリアした、畠山さん、伊勢さんのレポート発表ではトレーニングにかかる時間の使い方やストレッチを意識したボディケアなど、審判や試験に望むまでの段取りを学ぶことができました。

西村雄一氏の講習では中心視野と周辺視野について学び改めてポジションの大切さを確認しました。加藤委員長を始めとしたインストラクターの皆さんからは励ましを頂き今後の審判活動を見直す機会となりました。本当にありがとうございました。